

平成26年第2回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	周囲の状況を見ても、生活自体は回復したと言えると感じます。
回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	生活的に苦しい方は、まだまだ、たくさんいらっしゃると思いますが、日々の生活は普通に送れるようになってきていると思います。ただ、長い目で見ると、住宅再建資金等、苦勞されていると感じます。
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	他市町村より被災した方が少なかったため、久慈の被災者は思ったより回復しているように見受けられます。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	高台移転地の整備がほぼ完了し、どんどん新築されています。安心して住める自分の家ができた事は、とても良いし、自分で建てられない方の為の公営住宅もできそうなので、皆さん安心して思っています。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	鉄道が開通したりコミュニティーバスが走ったりと市民の足が復旧したり新設して利用している。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	だいぶ仮設住宅から戸建住宅に移り住んでいる様な気がする。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	津波で大きな被害を受けた村中心部よりも山側の方に家を建てる人が増えてきました。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	<ul style="list-style-type: none"> ・災害公営住宅の完成、入居開始 ・補助金を利用した事業所の再生 ・建設業の盛況
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	復興住宅の建設が始まったようだし、高台の造成も進んできているようなので、変化が目に見えるようになってきたと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	自力で自宅再建をしようとしている方、している方等が増えつつあることが目で見てわかるようになってきた。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	災害公営住宅が完成して入居が始まった。自宅の建築が進みだした。移転地の整備が遅れている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	自宅を再建した人が少しずつではあるが増えてきた。又、これから予定している人も出てきている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	県道、野田平庭線、野田村地内の県道切替工事が始まり、宇部町地内に切土した土の運搬があり、ダンプの往来が激しくなっている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	災害公営住宅に入居したが、家賃等の出費が多く、生活が大変になった。アクセス道路、橋の建設が遅れているので、災害があった場合、不安である。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	住環境の再建は確実に進んでいる。建設地、資金面（補助金含み）等の譲歩がない方の再建が進んでいない。本人の考え次第という感じがする。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	やっと災害公営住宅の建設がはじまった。入居募集も今月始まり、一定のめどがたつたように思える。ただ、希望の住宅に入居できるかどうか不安に思っている方も多し。そして、入居後、地域の人になじめるか、御近所付き合いはうまくいくか、入居後を心配する声も聞かれる。ここ3ヶ月での大きな変化は、災害公営住宅入居募集が始まったことであり、今は入居時期を目標に今の生活を送っていらっしゃるといった感じだ。

やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	住宅建築の増加（宮古地区）、公営住宅の整備
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	震災前と同じではないが、日常生活は（ほとんど食品だけの買物）皆さん元気に前向きになった感じです。心に悩みはあっても表には出さなくなりました。それだけ明日への希望を持ち始めたと思います。自宅を再建して仮設を出て行く人達の話があちこちで聞かれます。再建を始めても資材不足と人手不足とで、手を付けて1年以上も放置されているのを見たり聞いたりしています。私も再建を計画していますが、途中で休まれては困ります。被災地再建と、オリンピック工事と重なりますが、とても心配です。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	近隣市町村では住宅を新築し、住み始めている人も増えている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	高台移転であったり、災害公営住宅の建設・入居も少しずつ進んでいるように思える。雇用に関して言えば、私の住む地域は有効求人倍率が高いにもかかわらず、人手が足りないという話をよく耳にします。なにか理由・原因があるはずですが、そういった部分の調査もぜひやっていただきたい。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	高台の整備が進んでいるのが、やっと目に見えて分かるようになってきました。しかし、進み具合を考えると“住宅地”になっていくのが何年先になるのか、気になるところです。（被災者のどのくらいの割合の家族が対象になるのかどうか。）
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	仮設住宅から引越す人が増してきた。災害公営住宅の申込も届き、再建も一步一步進んでいる様に感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	生業とする養殖漁業の生産が開始されている事。 但し、自身は自立再建での住宅を目指してはいるが、当地域は貝塚指定がされており、いまだ再建予定地の決定をみていない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	・復興住宅の建設計画も明らかになり、仮設住宅からの移住が進むから。 ・以前被災した場所に店舗などが出来、活気が戻ってきたように感じるから。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	仮設住宅の空きが多く見られる様になりました。再建されている住宅があちらこちらに多く見られます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	女	公営住宅が完成し、入居した方も居ますが、まだまだこれからだと思います。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	農業はまだまだ時間がかかりそうであるが、水産業や商業は回復していると思う。ただ、生活面では仮設住宅での生活が続いており、その面では「やや回復した」としか書けない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	同じ仮設に住んでいる方々が、住宅を再建し始めています。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	・漁業は、希望していた船も希望している人へ、85名近くまで購入する事が出来、うに漁に出漁している。 ・住宅関連の復興・区画整理事業も6月から本格的工事が実施される。防集高台移転事業は、6月に宅地の申込み説明会、7月には募集が始まるという事です。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	被災を免れた地区への被災者住宅再建が進んでいると感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	緊急雇用で働いていた人達は将来を考え、正規雇用の求人を求めているが、なかなか無いのが現状。事業所側は将来の見通しが立たず、正規雇用を控えており、求職者と雇用側、それぞれの思いを理解できるだけに複雑な思いでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	生活の回復度は、バラツキがあると思うが、全体的には回復してきている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	災害公営住宅に入居が進み、また、高台造成団地も区画が定まり、住宅建築が始まっている。三鉄全線開通も明るい話題である。

やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	大規模な復興住宅も完成し、仮設住宅に空家が目立つようになり、一步一步、居住に関しては回復してきていると感じる。ただし、雇用はがれき処理の仕事が終了し、職場を探している方々が多く居るとの話は聞くが、雇用のミスマッチなのか、依然として福祉関連の雇用は職員が充足しない状況です。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	自宅再建者が増加傾向にある。しかしながら、地区外転居も多く、被災地での再建者は少ない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	この3ヶ月間はあまり変化はありません。高台移転、まだ各戸の段階に入っていません、工事中です。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	やや回復。土地さえ見つければ…と思う人は多くいます。仮設の人達も気持ちちは焦って生活しています。早く出たい、早く出たいと思っても、仮設生活が長引くと考えが変わって…なるようにしかならない、焦ってもしようがない、と思ってきました。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	高台移転地宅地造成工事が、町内織笠地区で主に急ピッチで進められている。しかし、山田地区の一部の用地交渉が難航しているようである。災害復興公営住宅にあつては、豊間根地区が竣工となり、6月から入居と聞いている。山田地区にあつては、未だ先の話である。高台移転地造成が進められてはいるが、水道敷設などの工事を入れると10年先のことではないかと、仮設住宅住民は心配している。「やや進んでいる」と思われるが、住民の将来的な住宅が確保されてこそ、真の意味の復興である。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	災害公営住宅が完成し、引越した方が良かったと言っている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	・高台の住宅地の整備もすすんできていて、家が建ってきているところも増えてきている。 ・震災から3年たち、住宅の再建をすすめている人たちが増えている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	新しく就職できた人もいて、津波の直後は何もできないでいた人も、仕事ができるようになったので、少し回復したように見える。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	普段の生活に支障はなく、人の心にもおだやかさを感じる。積極的に動こうという主体性があらわれてはいるものの、それは個人的な事柄がまずはじめにくるため、「皆の為に何か・・・」という震災直後のようなものとは違う。コミュニティとしてのまとまりが図れず、モチベーションが下がってきている傾向が見受けられる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	進んでいるように見えるが、自力再建及び防集移転での家を建築する資金の借入れ等で生活の安定はそれほど回復していない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	「やや回復」であるが、温度差がある。人によっては「回復」「どちらとも言えない」が混在していると感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	自宅を新築する人やアパート等への引っ越しをする人がまだふえているので良くなっていると感じます。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	住宅(自力) や公営住宅などの建設が進んでいるから。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	自宅を新築して、引越す人が増えているが、何も進んでいない人もいる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	高台の整地作業がすすんでいるのが見て分かる。少しずつではあるが確実にすすんでいる。最近では、三陸道路工事がすすんでいるのか、いたる所の家が立ち退き、新しく電柱がたくさん立った。新しい家もたくさん建っている。人々の生活は回復していると言えるだろう。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	災害公営住宅の建築も進み、今年度中に仮設住宅から半分以上の世帯が出て行くようです。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	学校現場で感じるのは、通学路に工事のため大型車両が多いことや工事区域が多いこと、街灯が整備されていない場所があるなど、生徒の安全面が心配されることです。その他には、登下校時に災害が発生した場合の避難方法、在宅時の安全確保が挙げられます。また、住環境が安定してきている家庭が増えてきている中、未だ仮設住宅等で生活している家庭の精神面での安定が最重要課題ではないかと考えています。

やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	自力再建した人や、災害公営住宅に入居して、落ち着いて生活している人が徐々に増えていると感じます。一方、仮設住宅の空部屋活用等がこれからの課題と思われる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	町内の公営住宅がやっと完成するところであるが、それ以外は土地の開拓中であり、まだ時間がかかりかかり、仮設での生活から抜け出せない方が多くいらっしゃる。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	あくまでも、復興に伴う一時的な回復という感じと思う。復興が成った後が、まだ、見えない状態と思う。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	仮設住宅に入居して3年も過ぎ、貯蓄をとりくずしながらの生活につかれを感じている。自立再建を希望していたが、建築費や生活費等の高騰により、先行きが不安だ。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	・建設・土木の分野では雇用が生まれており、その点では良いと思うが、震災以前の第一次産業従事者が移った感じであり、地場産業の担い手が減っているのも事実。 ・災害公営住宅が完成し、仮設住宅を出て新たに公営住宅に住む人が出てきた。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	仮設の住居、店舗が日常化した感じがありますが、それらは「回復」という表現が適さないと思うので「どちらとも言えない」としました。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	復興住宅に入居した被災者の方々は一般に元気をとりもどし、これから先の生活にも意欲的であるように見える。一方、仮設住宅に引き続き入居されている方は、日常生活にあまり変化はなく、将来への希望を見出せないでいる方も少なくないようだ。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	東日本大震災から3年を過ぎ、仮設住宅での生活では回復しているとの実感はないが、周辺の皆様の生活はそれなりに落ち着いたと思います。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	住宅の再建ができる人とそうでない人に分かれてきている。再建できる人は早く仮設住宅を出て新しい家に住んでいるが、それ以外は依然として仮設住宅に住んでいて、復興住宅の完成を待っている。被災者間に格差が生じていると思う。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	土地が手に入った人たちは、家を建てているが、高台の整備をまっている人は、まだまだ先ようだ。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	災害公営住宅が増え、復興を感じている。しかし、まだ仮設住宅に住んでいる方の気持ちを考えるとやり切れない思いです。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	震災後に一気に出された緊急雇用求人で、一時、雇用面も安定したように思えた時期もあったが、緊急雇用求人が終了したこれからこそ、見えてくる問題があるのではないかと心配している。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	学校付近に復興住宅の建設が始まったようだ。（まだ土台づくり）教員の住宅確保も難しい。（年度初めはホテル住まいの先生もいた。）
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	自宅再建をされる方が増えていますが、それができず仮設住宅に住んでいる方が、まだいるからです。被災された私の周囲の人も毎日の生活に追われ、ゆっくりと先の事を考える余裕がないようです。（辛いことを口に出さないようにしているようにも見受けられます。）
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	民間住宅再建等、造成工事も含め、だいぶ開始はしているようであるが、まだまだ極一部である。災害公営住宅の外観が少し見えて来た所もあり、進んでいる様ではあるが、周辺道路、かさ上げ等、まだまだ進んでいない。高台の既存の道路が色々な工事で常に通行規制があり、仕事上大変な負担となっている（移動に時間が掛かる）。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	雇用は回復しているものの、働き手の都合により、職の状況は変化していないように感じられる。住宅もだんだんできてきているが、仮設の状況に変化は見られない。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	被災者の生活ということなので「どちらともいえない」です。付き合いのある親せきは漁師です。流された作業場も新しく建ち、漁業は再開始めてはいるのですが、その分の負債もかかえています。ですから、「進んでいる」とも言える状況ではないと思っています。

どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	・復興住宅や道路建設のため、土地の整地工事が進んでいる。職場近くの道路も、工事ダンプの往来が多くなった。 ・仮設住宅の方々も、家の建築とともに出られる方々がいる様子である。 (あまりはっきりとしたことは分からないが)
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	3ヶ月前の生活とあまり変わりません。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	新築の家が建ち、商業施設も増えてはきたが、その分格差の広がりを感じる。仮設住宅が無くならない限り、回復したとは感じなくなった。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	・学校関係の状況に変化がない。 ・工事関係車両の増加により、安全対策としてスクールバスの対応をとっているが、運転手不足でバスの減便を余儀なくされている。子どもたちの安全を守りたい！
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	自立再建をされる方は皆さん仮設を出られました。今残っている方々は公営住宅を希望されています。建設が始まれば、少しは希望が持てるのではないのでしょうか。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	町発展の歴史の中心は、縦細長岬状の中世山城遺跡の山裾を囲む型で、街が形成されて来ましたが、国に縦細長の山腹に横断トンネルを開通させ、左右の山裾に生活設置、生活道路にしたいと国に開発願い、三顧之礼を尽くし、国から調査費が付いたそうなので、横断トンネル（生活道路）の進捗状況によっては、被災者の生活の回復度に弾みが付くと思います。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	漁業による水揚げは出来ているが、借金を返せる程は、順調になってない感じです。食べるだけで、いっぱいっぴいです。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	全体的に進んでいない。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	生活について3年も過ぎると被災前と比べられない現実がある。消費税はあがるし、物価もあがった。現金はあがったわけではない。仮設はまだいいが、家を建てたとたんいろいろな取られるわけで、ハードとソフトと実感が無いのになれてしまって、比べる基準がそれぞれちがうのでわからない。そろそろこのアンケートも現実にあうように、答えられるようにかえたらどうですか。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	平成25年度9月着工予定の山田病院建設は関係機関との入念な調整により、12月より作業が始まり、土砂搬出のベルトコンベアが過日やっ完成し、具体的作業がこれから始まります。街中の住居の土台整備も3年が経過した昨年9月頃から始まりました。これから山の切り出し、カサ上げがやっと始まる。前段階の整備が進んでおり、回復はこれからという意識でおります。仮設住宅から別な住居へ…あるいは経済的な保証が不透明なところもあり、回復は実感できない状況です。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	基本的には、2月の調査のときの回答と同じである。地区内の防災集団移転促進事業や都市再生区画整備事業は計画に沿って進行しているように思われる。また、漁業集落防災機能強化事業は最も早い段階で住宅再建の見通しが立ったように見受けられる。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	今回は、陸前高田市気仙町今泉地区の事を。 3月でガレキが無くなりました。ベルトコンベアも動いている時に見ました。だがフル可動でも、予定は5年後の高台及び嵩上げ完成との事です。気仙町は老人が多く、小学生は少ないので、学校の建設には地元の木材を使用し、コスト面と健康面を考えてほしい。又、気仙町民が50年以上前から災害用にと用意している各地区民の植林材の使用をお願いしたい、災害住民の復興の種にしてほしいと、ここ3年間思っています。市議員は何を見ているか不明です。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	高台移転の為の土地造成工事が始まっております。高台で安心して生活する迄は、まだまだ時間が必要と実感します。その為、仮設住宅の生活は続きます。早く生活環境の良い場所で生活することを希望します。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	町のあちこちに、新築又は改築途中の家が目立つようになった。仮設住宅から出ていく人も増えてきた。しかし、被災前はそれぞれが持ち家に住んでいたことを考えると、今だ仮設住宅を出て行くことができない人の数が多く、生活が回復しているとは思えない。また、JR山田線宮古～釜石間が復旧していないので不便さを感じている住民は多い。

あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	仮設から復興住宅へ移っても、管轄が県だとのことで、細やかな対応が行き届いていない。市へ問い合わせれば「県の管轄だから」と返される。安心して暮らせるよう、連携を取っていただきたい。
あまり回復していない	(不明)	(不明)	(不明)	(不明)	生活再建のため、周辺環境は整った感じがするが、被災者個々の回復は以前と変わらない。周囲を見る限りは、被災者の移転地も整備され、一応環境的には整備されたと思う。ただし、住宅再建等については、被災者の置かれている個人的な生活環境が違いすぎるため思うように進んでいない感じがする。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	私の住む地域の防災集団移転に伴う造成工事が、27年度後半以降になると言われている。移転希望者のなかには、遅くなればなるほど資材や大工賃、消費税アップなどで建てられなくなるのではと、不安を持っている人たちがいる。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	土地を有する人は、新築を始めているが、高台移転の人は先行不安、工事が始まっていない。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	震災前の生活状況に回復している人と、経済的理由によりできない人との差が顕れている。以前の仕事と別な仕事に就き、収入が減少し、又、建築資材や工賃の高騰等で住宅再建が出来なくて非常に苦しい状況の方々が多くいる。この3ヶ月については停滞していると感じる。今後の市・県・国の新たな支援策への期待が大きいようだ。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	特に被災者の生活が回復したとは思えない。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	仕事、雇用の面では回復したと思うが、住宅環境の面ではまだまだ先のことだと思う。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	仮設住宅生活も3年となり、室内のカビ等の発生も耳にすることから、住環境は悪化していると感じる。又、自殺等の新聞記事を見ても、震災直後は相互の協力精神があったが、精神的に病んでいる人が今は増加傾向にあるのではないかと考えられる。精神面への支援はきめ細やかに行う必要があると思う。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	ベルトコンベアが整備されて、高台移転が加速しはじめたように思えるが、その高台造成が待たなくて、県外に出てしまっている住民の方々がいる。また、災害公営住宅も、競争率が高いので、申し込みを渋っている仮設住民の方もいる。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	公営住宅は完成し、移転地の造成も進んでいるが、被災者の方々に明るさを感じられない。
回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	生活は、被災した時と同じで、仮設住宅に住んでいる。仮設を出た人は、数えるだけで、まだまだ先が見えない。
回復していない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	女	高台移転の進みがみられない。学校等の建設も進んでいるようには思えない。
回復していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	ほとんどの人が仮設住宅暮らしなので。
回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	災害復興住宅の建設がもう少しで完成するところもあるが、まだ仮設に住んでいる方が多くいる。

II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	震災前の仕事がほとんどの方ができるようになったようです。
回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	あまちゃん効果や各方面からの支援により、久慈地域の経済活動はよい方向ですすんでいると思われます。しかし、5年後、10年後の、この地域経済におけるヴィジョンをしっかりと、今のうちに考えておく必要があると思います。
回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	復興特需で地域が活性化している。しかし、この状態はいつまでも続くわけではないので手当てが必要。URやデベロッパーが案を出しているが、実情にそぐわない。住民の意見を取り入れてくれない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	被災水田の基盤整備の工事も進み、今年から水稲の作付が出来る楽しみにしてきたが、4月末になってから55%もの水田に作付が出来ないと知り、県に対して不信感を持っている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	水産業、とくに養殖ワカメ、コンブは震災前にもどりつつある様にみえる。ただし、販路が縮小したことや原発の風評被害など、新たな課題も出てきている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	建設業を中心に業況は堅調。外部から作業員も町内に入っており、消費も増加している。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	港の整備は進んでいる。魚が安い、安すぎる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	<ul style="list-style-type: none"> ・二日市地区とかから海岸を見おろすと、水産会社の工場が立ち並び、復興が感じられます。 ・地域経済を考えれば、どうなっているかわからない。 ・工場は建つが、人がいない実情です。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	水産業、特にホタテの養殖漁家はかなり、震災以前に近づいてきているように思う。ただ、地域の経済は厳しさが続いているように思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	復興道路（高速道）の工事も始まり、又、野田村の防潮堤工事も目に見えて進んでいる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	久慈市は、「あまちゃん」効果もあって観光客が多く、地域経済は上向きかもしれないが、地区によって、その効果の温度差が感じられる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	復興需要により、地域経済は確実に回復しており、この状況は3年程度は維持されるものと予想する。売上、収益面でも震災前を上回る企業が大半である。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	大型スーパーの開店が大きな要因。市内経済が活気づいたように見える。一過性のもではなく、経済の活性化を維持、発展させてほしい。そのための具体的な策はあるのだろうか。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	復興関連企業はとても忙しいです。家を再建する関係で建設業は人手が足りず、完成までに時間がかかるそうです。業種によってはありますが、回復していると思います。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	<ul style="list-style-type: none"> ・釜石に大型店舗が建ったり、大槌・釜石に水産加工場が建ったりする動きが見られた。地域住民の雇用、ショッピングの楽しみ等を考えると、明るい話題である。 ・地元の若手事業主が結束して、ふるさとを守ろうとする活動をしている姿を見る機会があった。このような動きを小・中・高校生に見てもらいたいと思った。

やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	漁業者の経済面は分からないが、朝早くから一生懸命働いているのを見ると、順調に進み出したと思います。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	土木や建築の仕事は多く、冬期間でも収入あり。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	魚市場付近は出来上がっているが、未だ住宅地の整備が進まず。早く地域全体が元の街並みに…。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	当市の復興計画に伴い、さまざまな復興の槌音が聞こえ、大型重機類が作業を実施しており、進捗は見えてはいるが、漁港の整備が遅く、生産は始まっているのに漁港の作業場の建設がされておらず、生産に不便をきたしている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	漁業は大分進んでいると思います。しかし農業は遅れている。土地改良工事が遅れている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	宮古も店舗が増え、釜石にも大型店ができたので人の流れが増えたように感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	各種の支援、復興工事などにより、経済面の回復は進んでいると感じている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	店などでも商品などが、震災当時よりははずい分出回って来る様になりました。（被災した工場の物などです）
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	水産業の回復が見られる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	魚市場が完成したり、大型ショッピングセンターが完成予定など、目に見える形で少しずつ回復しているように感じます。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	大型スーパーができ、たくさんの人を見るので、にぎわいができていると思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	養殖ホタテ(稚貝)の水揚げが始まり、水産業にも明るさが見えてきたように感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	復興関連の業者向けの宿泊施設や量販店、飲食業の店舗が増加している。今現在では、回復して来ていると思われるが、数年後、復興に目処がつき、関連業者が撤退した後の地元経済が衰退するのではと不安になる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	養殖事業が80%回復しています。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	グループ補助金等の公的な資金援助の活用により、企業の再建は進んでいると思う。また、当市に大型店舗が開店し、街にも活気が見られる様になった。ただ、以前から「雇用のミスマッチ」による人手不足状態が続いており、十分な生産能力を発揮できず、また、店舗の営業時間を短縮（閉店時間の繰上げ）して対応している状態で、困っている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	新築の建物が目立ち、街に徐々に活気ももってきている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	震災前、「山田カキ祭り」が盛大に行われていた。震災後、久しく途絶えていた。カキ養殖がやっと軌道に乗り、昨年冬からカキ生産が復活し、浜に活気が甦ってきた。昨年新装復興成った山田魚市場で、本年4月下旬、4年ぶりの「山田カキ祭り」が盛大に開催された。水産復興の幕開けとして、喜ばしい。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	水産業の人は、特に支援が厚いように思われます。他の商売をしている人の中には、うらやましがっている人がいます。私共は飲食業を営んでいますが、土地も建物も借りていたので、土地をもって流された人のようにグループ補助金を受けられず、今は、おかげさまで仮設店舗で営業をしておりますが、そこから自力再建するには、目処がたてないでいます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	小さな商店が新しく、または再びあちらこちらでオープンして、活気がでてきたように感じる。行政、民間双方の努力が見受けられ、それに対する地域住民の期待も感じられる。

やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	漁業の復興は進んでいるが、所得の回復はまだ安定していない。農業の復興は浸水地域は全く進まず、被災していない地域の農業は震災前と同程度、全体的にやや進んだと感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	誘致を積極的に行っていることは評価できるが、地元企業に限定すればどちらとも言えない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	大型スーパーはたくさんの人でにぎわっている。また、三陸鉄道も開通したので経済の回復に期待したいです。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	仮設店舗が増えたとし、積極的に地元の商店を利用しているから。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	漁港の整備が進み、形になってきた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	水産業において新規誘致企業が数社進出を決定されたとの事。この事が呼び水となって、内陸型企業も来てほしいところです。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	雇用の面での変化はそれほど多くないと感じています。被災された方々で、まだ経済的に苦しい家庭への支援をもっと大きくする必要が、これまでに続いて、あるのではないのでしょうか。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	復興工事（町方地区土盛）や三陸縦貫道（復興道路）の工事に伴い、町中は車両の通行が増えて来ている。以前に比べ、地域経済が徐々に回復していると感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	新規の店舗などが出来始めているが、仮設営業をされている方々はまだまだ見通しは立っていないようである。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	大きな変化は見られませんが、徐々に変わってきていることは感じます。地域経済に影響を大きく与えているようにはあまり感じられません。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	回復した部分、そうでない部分、どちらもあると感じ、「どちらともいえない」にしました。飲食店などは夕方以降はお客さんも入り、にぎわっているようですが、中心部の商店街は平日はもちろん、土日もあまり人はみられません。漁業（養殖業）はホタテ出荷の共同出荷も最後になり、これから養殖漁業者1人1人の本当の復興です。皆で競い合い品質の良い物を生産し、1日も早く、被災前の生活に戻れるように頑張っていきたいです。鮭も沢山帰って来てくれると良いのですが…
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	広く見れば、企業や漁業関係の努力で回復してきたと言えると思う。この3ヶ月は、消費税の引き上げもあったので、どうなのかかわからない。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	復興で仕事をしていた人の仕事が無くなって、これからの仕事をどうしようかと考えている人が、4月以降増えている。いろいろ整備されて農林水産業はすすんでいるが、大変なのはこれから作った物がどれくらいで売れるか。加工業者も工場はできたが、作業員の確保に苦労している。運転資金も借りられない業者がいる、3年実績がないから…。住宅もこれからどんどん建つが、入ってから生活できない人がでてくるかもしれない。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	農業関係は整備が進んでいるとは思いますが、回復したとは言いきれない。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	ほたて養殖も2年ものの稚貝の出荷が始まり、少しは軌道に乗りはじめたようだ。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	水産関係の事業所は回復してきました。町の産業の基盤である水産業の生産体制が進み、浜も活気が出てきた感じがします。早く震災前位の生産が出来る様、期待しています。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	ワカメ、カキなどの養殖漁業の水揚げは回復しつつあるようで、復興工事と共に地域経済の回復が進んでいるように見えるが、長く続くか不安もある。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	農業、漁業ともにだんだん回復してきているようにみえるが、商店、飲食店が苦戦しているように思う。特に仮設商店街のお客さんが少ない。また、以前のように飲食店にもにぎわいはない。ボランティアの方々も今はほとんどいなくなった影響なのだろうか？これで、復興道路建設等の皆さんがひきあげたら、商店街、飲食店はどうか、不安に思う。

どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	大型店、大手企業などは目に見えて増えてきているようだが、商店街などはどうなのかな、と思う。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	経済面の復活は産業（特に第一次）の復活ほどは回復が見られない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	確実に震災直後より再生は進んでいる分野もあると思うが、商業関係の再生はそうともいえないように思う。（人口流出の面などから）
どちらとも いえない	(不明)	(不明)	(不明)	(不明)	漁業関係の施設整備もほぼ終わり、以前に比較して回復のスピード感は感じられる。 昨年の「あまちゃん」効果の影響で潤っているように思える。「あまちゃん」効果は一過性のものであるので、観光に頼らない企業誘致等長期の視野に立ったヴィジョンが見えない。ジオパーク指定によるジオツーリング効果に期待している。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	わが町は、鮭の収穫量・売上高が繁栄の大きな判断材料だ（と思っている）。その鮭の収穫量・売上高が戻ってきているとは言い難い。だから、どちらともいえない。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	3ヵ月間、何も変わった所はないです。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	女	地域の回復は進んで居る様に見えます。しかしながら、仕事を失った方々が、まだ仕事に就けない状態でもあるので、地域と個人との温度差を感じます。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	まだまだ途上という印象。まだ先が見えない。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	漁業は全般に低水温のためか養殖漁業も成長が良くなく、単価も前年より安く、漁船漁業も出漁していない状況。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	中央資本の企業が進出してきており、地元の被災住民も雇用されているものの、地元資本の企業にとって、良い効果となっているのかが見えていない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	大型店は土地を用意して開店しているが、地元の店舗はなかなか仮設から自力で店を出すのは大変だ。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	震災関連による経済の復興は徐々に見えてはきたが、一方で、50歳台以上の失業者も多く、経済的に困窮している被災者も増えてきている。特に、高齢者世帯の生活感に暗さが見え、二極化が進み、回復の評価が難しい。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	高台造成工事（復興事業）にともない、水利等、変更の影響がある。また、通行規制により、管理作業上「経費ばかり増えて、収入に結び付かない作業ばかり新たに発生して困る」という話を相変わらず聞く。土の入れ替えに用いる土が足りていないのだと思う。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	建設関係は復興事業で忙しいようであるが、全般的には変わっていないと思う。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	仮設店舗からの移行の時期や場所・資金について不安に感じているといった話を耳にすることがたまにある。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	もちろん、被災直後に比べれば「回復している」でしょう。でも、被災前と同じか、あまり回復していないように思います。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	建築業や建設業は仕事がありすぎて大変なようだが、その他の仕事はどちらとも言えない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	大手スーパーができ、内陸まで出かけていた人たちが沿岸の大手スーパーを利用している話をよく聞くようになった。その半面、仮設商店などの客数やこれからのことなどが問題となっている。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	大型商業施設がオープンしたことにより、やや回復したとは思いますが、反面、海水につかり、整備した田んぼが最近では整地されていた。工事業社のプレハブや新しく家が建つのはわからないが、農業は停滞するのではないかと感じる。

どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	水産業、高台造成の土砂の影響が心配。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	水産業の面では、加工場等も支援で復活しており、活気がみられるようになりまし。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	食事に関しては、以前と変わらないが、衣住に関しては、個人的には回復できていない。周囲に関しては、家を新築する人と仮設に住みつづけている人との差が出ていると感じる。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	地域経済が回復しているかどうかは、まだわかりません。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	特に漁業関係者が働いている様子を見ると、被災前のようなあただしさぶりが伺える。しかしそのことが地域経済の回復に直結しているかどうかは正直わかりかねる。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	漁業に関しては、魚価安に加え、冷水による不漁で最悪って感じです。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	先日、カキ祭りが久しぶりに開催され、活気づきました。このような催しにより回復の実感があります。しかし、日頃、生活している中では、地域経済が活性している実感は、あまりありません。街並みの風景であったり、商店等が今だにプレハブであったりすることも実感がわからない要因かもしれません。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	織笠地区のは場整備が進んでいます。今年度の稲作は無理ですが、来年度から稲作が一部できると思います。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	基本的には、2月の調査のときの回答と同じである。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	私は時々、各港に釣に行き話をします。船主さんが働かないと大変だと、漁があっても無くても組合費に大変だと、老いた八十代と六十代の2人が出船していました。山の方の事、復興工事のために伐採をしたのですが、放置材はそのまま。山林の相続が出来ないのも、農林水産省の重大な責任と思う。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	・建設、土木の仕事に従事する人が増え、以前からの農林水産業や個人商店を再開しないで建設業に勤める人が多い。何年後、復興関連の建設工事が一段落したらどうなるのか心配である。 ・ここ3カ月では大きな変化感じられず。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	収入は増えず、消費税アップで、いやおうなしに支出が増え、生活は苦しくなっている。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	工事関係者が同じ地域で生活しているので活気があるように見えるが、水産業は海水温が低く、思うような漁はなく、収入は低下している。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	新年度に入ってもあまり変わらず。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	消費税増税後の4月以降、明らかに消費者の財布が、きつくなったように見える。会社を経営しているが、3月と4月では、お客様の来店数、売上が減っている。これで来年10%に増税になった時、どのくらい反動がでるのか、不安だ。被災地にとってやはり増税は地域経済に厳しいものがあると言える。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	農林水産業は、漁船の配備・農地の回復はほぼ完了したが、転業や高齢化により機能できていないように見られる。
回復していない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	女	支援などにより求人等はたくさんあるが労働者が足りない状況で歪みが生じていると思う。
わからない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	水産業は震災前と変わらないような気がしています。地域経済の回復となると分かりません。

Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや達成した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	海岸道路がまだ震災後のまま補修されておらず、通行しにくい所が残っている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	復興・復旧の計画が進んできている。 三陸道、三鉄小本駅の着工。 集団移転用地の造成開始。 小本小中学校、新築の入札。 ぴーちゃんネットの利用開始。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤の工事は進んでいる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	水門工事や堤防工事も進められており、それが安心感にもつながるが、完成までにはまだ時間がかかるため、少し不安なところもある。だが、震災を機にハード面に頼るだけでなく、「何かあったらすぐ逃げる」という一人一人の意識も高まっていることから、ソフト面の災害に強い安全なまちづくりにはつながっていると思う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	ネットワークの強化
やや達成した	(不明)	(不明)	(不明)	(不明)	住民の安全に対する意識が高まってきた感じがする。地域の話し合いの中でも積極的に参加しようとする姿勢がみえる。 地域住民の防災意識の高まりとともに、自主防災に対する取り組みが進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	まだまだ途中だが、少しずつゆっくりは進んでいると感じる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	自分のところは、工事ははじまったばかりですが、まわりは進んでいると思う。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤や復興道路等の建設は毎日進んでおり、スピード感がある。ただ、生活に直結する下水道や歩道等の身近な事については、整備不十分だと感じる。雨水が道路に溢れ、高潮の際は下水の排水が悪く、歩道は凸凹状態で歩きにくい。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	目に見える形では、住宅地の整備、道路、堤防等の整備が進んでいます。目に見えない部分での住民一人ひとりの災害に対する心構えをしっかりと持ち続けていかねばならないと思います。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	子どもや住民への防災教育がますます重要になると考える。地域住民の主體的な活動がのぞまれる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	人目につくような場所はすぐ整備されましたが、後回しにされている部分も、まだまだあります。（防波堤の整備）
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	防波堤の建設が進んでいるから。
やや達成した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	三陸道の方はすすんでいるのがうかがえる。防潮堤の方は、最近、見に行く機会がないため、すすんでいるのかいないのか、分からないし、みえてこない。
やや達成した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	災害対策面で、多くの地域で整備が進んでいると感じます。 防災放送などを活用して、工事の目的や避難方法など、住民への周知徹底がなされ、理解を得た上で進めてほしいです。文書での周知には限界があると感じています。

やや達成した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤等は完成間近となっている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	・漁港の嵩上げや整備は進んでいる。各家庭への災害等を連絡する方法に新しい手段を用いて、各世帯へ設置した。 ・同じ場所で工事する複数の業者が、同時進行で工事を進められず困っているようだ。互いに工期の関係もあり大変そうだ。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	工事はしていますが、まだまだですね。完了するまでには、時間が掛かりそうです。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	高台移転の場所と思われる箇所の工事を最近よく見かけるが、着工が遅すぎるのではないかと思います。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	防潮堤の工事は進まないが、かさ上げ工事や道路整備は進んでいる所もある。安心して海沿いにいられるか、というとまだまだと言えると思う。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	村民にわかるように具体的に村の姿勢を示してほしい。安心、安全な村づくりは、震災の有無にかかわらず日常的に大事なことではないか。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	防潮堤の建設、土地の嵩上げ、区画整理等の工事が進んでいるが、まだまだ安心して暮らせる状態ではない。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	防潮堤他沿岸部の工事は始りつつあるが、工事の進み具合が遅いように感じる。又、避難路等を含めた区画整理事業も、もう少し時間がかかりそうだ。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤工事等が着手されていますが、工事の規模があまりにも大きいこともあり、時間を要するため実感が未だ感じられずにいます。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	民間ベースの回復は確実に進展しているが、まちづくりのような公的機関が主導を取ると、いろんな制約があり、進捗しているイメージが感じられない。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	4月の津波注意報で、にわかに住民の意識が呼びさまされたような気がする。その後の頻発する小さな地震が一層危機感をもたせている。このような状況の時こそ、行政が何らかの意識啓発を行いたい。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	徐々にではあるが、防潮堤の建設が進んでいる。 復興道路の三陸道も先日陸前高田までつながり、高田町の人たちの交通の便がますます便利になったと思う。交通の便は、益々便利にはなったが、その一方で、交通渋滞がすごい時間帯がある。特に夕方（朝は夕方ほどではないと思います）、国道340号線が混む。国道45号線の気仙沼から高田に向かう道路も混むようだ。早期の気仙大橋の再建を願うと共に、橋をもう一本建設してほしいと思う。そうすることで、渋滞の緩和になるのではないかと思います。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤は、いつになるのか、前がみえてこない。防潮堤は、少しずつすすんでいるようだ。岸壁のかさ上げは、すすんできている。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	町中心部の比較的障害物の少ない一区画から嵩上げの為に土台基礎撤去が始まり、更地が次々と出来ているのを見て、いよいよ始まった感じが致します。今はお陰様で、皆と仮設長屋店舗で営業しておりますが、嵩上げの時間がきまると、移転となります。移転先が、国道を渡り海側の嵩上げをしない場所ですとの事。信号機も無い（有ったとしても）、高齢者、子供が、国道を渡って買物に行くのは非常に危険と考えます。これからは、復興工事用の大きな車が多く走ると思います。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	港湾設備や浸水地域のかさ上げは少しずつ進んでいるように思える。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	防潮堤等の整備作業は進んできているように感じるが、安全なまちづくりとは何が優先されるのか、難しいものだと思うこの頃です。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤等の工事・整備が進んでいない。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	ようやく防潮堤の工事の話を知りました。早く住民のみなさんを安心させてもらいたいです。

どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	まだ地域公民館がないため、地域に避難所がないので、大災害が起こったとき避難生活をする場所がない。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	各所で工事が行われているため、前に進んでいるのだろうと思うが、安全なまち、災害に強いまちになった実感までは感じない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	・土地の低い所をどうするのかまだ見えない（大槌はかさ上げをしている…）。 ・交通渋滞の解消に「宮古道路の開通」「鉄道の復旧」をぜひお願いしたい。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	国や県などの手がけている防潮堤（海の方）は、復興しているが、街の方は、復興している様には見えないところが多いと思う。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	災害に強いといえるには、その工事が終わるまでは達成しているとはいえない。しかし、目に見えて進んでいる。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	防潮堤・防波堤の復旧工事、新規整備工事が日々進んでいる。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	かさ上げは進んでいますが、防波堤の再建はまだだからです。街灯もなく、夜間は危険だと思います。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	防波堤や道路整備は徐々に進んでいると思う。県、各市町村共に人命を第一に考えた整備事業を、今後も貫いて行って欲しいと願います。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	海岸周辺の水産関連施設が、徐々に復旧・復興してきた。しかし、命の安心・安全や財産を守るための防災施設が、遅々として進まない現状にある。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	堤防工事が進んでいますが、どこまで工事をするのか全く分からないとの声を聞きます。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	復興道路建設のための工事がどんどん進んできている。盛土も高くつまれて、今までと景色がだいぶ変わってしまった。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	河川の工事が行われている。しかし、堤防や出入口等の改修の進みはあまり感じられず、通勤中、もし…また…と思うと、安心できない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	仮設住宅のコミュニティの変化や高台移転等の地域の再構築等、その都度、防災方策を考えていかなければならない。今、起こりうる災害のために！
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤が完成しないうちはどちらとも言えない。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	防潮堤の工事が遅すぎる。
あまり 達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤の建設が進んでいるが、出来上がったわけでないので、津波に関しては弱いし、ソフトの面でも弱くなっている。予報にたよりすぎている、想定外という言葉はもういらぬ。あぶないか安心かで予報してほしい。何もなければ、それはそれでよしとする。強い意識でやらないと。
あまり 達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	防災を意識した街づくりがやっと工事などが始まったばかりで、整備等はこれからという実感です。消防署の移転などもこれからですから、もう少し時間が必要だと思っています。
あまり 達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の整備は進んでいないが、漁業施設（市場、加工場、処理場）は整備されている。今も建設中。織笠地区の高台移転工事は進んでいると思う。計画どおり完成すると期待しています。
あまり 達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	基本的には、2月の調査のときの回答と同じである。
あまり 達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の工事が始まっていますが、まだ形が見えてきません。安心して生活する為に早く防潮堤の工事が進むこととあわせて、河川の堤防の工事が始まることを望みます。

あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	自分が元々住んでいた地区は、防潮堤拡張の土地買収が始まったのみで、壊れた箇所の整備も含め、まだ進んでいない。高台の造成工事も始まっただけで、仮設住宅をいつ出れるか目処がつかない。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	浸水地区に土盛りが始まり、町の形が変わるのだなと思った。しかし、土を盛って高くしても危険なことには変わりがない。避難路をはっきりと分かりやすく知らせることと、経路をたくさん作っておくことが必要だ。防潮堤を高くし過ぎて海が見えない状態になることが、逆に危険であると感じる。住民の危機意識を高め、個々が安全に避難できるようなまちづくりを望む。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	防潮堤＝災害に強い安全なまちづくり、なのか…と常に思う。仕事で高齢者を車に乗せ、沿岸線を走行している時、もし津波が来たらどこにどう避難したらいいのか、わからない。不安を感じながらハンドルを握っている。ハード面だけでなく、地域の情報を掲示してほしい。高齢者や障がいを持った方が安全に避難できる場所を作ってほしい。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤の整備が殆どされていない。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	まだ、具体的な形が見えて来ない。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	防潮堤の建設工事が行なわれている。ただ、残っていた海側の堤防を撤去して建設しているので、その場所では海が荒れた日は波が打ち上がってくるので、こわく感じる。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	工事の進捗状況が住民に周知されていない。何の工事に着手しているのか、行政の広報誌にも記載が少なくなっている。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	新しく水門ができたわけでもなく、高台への移転もなく、小学校、中学校もまだまだ危ない場所のままです。これは今までのハード面が“災害に強い村”を目指して、水門や波消しブロックの沖合設置を進めてきたおかげで、震災後に行う分が少なくて済んでいるから…かもしれません。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤の整備をしても震災前に戻るだけのように感じる。風化させず、一人一人の意識に残るような取り組み（避難経路の表示や訓練）を行った方がよいと思う。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤建設は始まっているが、その姿が見えない。二線堤としての県道の嵩上げも用地交渉が始まっているが、建設は来年度以降、漁港等の避難道も作られていない。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	被災地では毎日トラックが多く、工事はすすめられているのですが、形としては見えない。とにかく、早く形になってみないと、実感として受けとめられない。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	まだまだ達成されてない様に思われます。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	特に変化がみられない。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	前回と同じ。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の工事の遅れや災害公営住宅の建設予定地のヒ素の問題等が発生し、工事が遅れているので、早急に着工できるよう要望する。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	堤防の整備が進んでいないように思われる。堤防を高くするより、避難路の確保・整備をすすめた方が良いのでは…とも思う。
達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	残念です。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤の工事は進行状態が目に見えるようになってきたと思う。しかし、未整備状態であることにはかわりない。

達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	高田の町づくりもまだ進まず、私達が住んでいる気仙町はベルトコンベアーだけが進み、町づくりはまだまだ先の話です。作業のトラックの往来で、すごい粉塵と山をけずっている土ぼこりがすごく、町中が肺炎になって肺ガンになってしまうかもしれません。どうにかありませんでしょうか？ どうにもならないですね…工事が終わるまで。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	ガレキが無くなりました。 高田松原跡地に3機の重機が立ちました。防潮堤工事とは思いますが、住民としては、何の工事が不明です。
達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	防災センターは完成したが、災害時のアクセス道路、橋の建設ができていない。早急に着工、完成して欲しい。(現在、住まいが、孤立状態になってしまう)
達成していない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	女	嵩上げ等を行っているようだが、あまり進んでいないように思います。また、時間がたつにつれて、住民の移動が多くなってきているように感じます。
達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	町の対応が遅い(避難所・物資・福祉避難所)。震災を経験したにもかかわらず、何も対応されていない。今、震災が起きたら…ゾットする。
達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	こわれた防潮堤・水門が、まだなおっていない。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	現時点では工事が始まっておりますが、完成にはまだ数年掛かるので、進んでいるとは言いがたい。但し、被災地各地とも同様のようであるが、今回の震災被害で、生活の場は、ほとんど高台移転を計画しているため、コンクリートによる高い防潮堤の必要性には疑問を感じる。環境に問題があり、後世への課題を残すものと思われる。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	女	まだ、防潮堤も完成しておらず、不安な日々です。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	工事が急ピッチで進められているが、進んでいない。行政が本当に安全なまちづくりをしようとしているのか疑問さえ感じる。 ①道路に避難誘導標識がない。 ②防潮堤の高さを表示する表示塔が危険箇所には設置されていて、誰が見ても、住民に理解してもらうために設置しているとは思えない。 これは当市のみで、他所は問題なし。
達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	被災した町の中は「がれき」もなく、きれいになったが、ただ整地しているのみ。毎日、トラックが行きかい、交通量は多いが、安全、災害に強いまちにはほど遠い気がします。
達成していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	計画は、説明会(地域懇談会)で、その内容はわかりました。現在は測量等をしている段階のようで、まだ工事は実施されていない。目で見えるように、早く工事着工してほしい。
達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	防潮堤は、まだ完成していません。あまりにも巨大で海が見えず、怖い気がします。
達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	岸壁等の嵩上げ工事は進んでいるが、防潮堤は相変わらず手付かず。海岸の道路・避難路に街灯がない。
達成していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	防潮堤整備事業、工事中です。その他工事には着工していませんので早期にお願いします。
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤が完成していない。 また、大震災では津波被害箇所の確認・査定が優先されて、地震被害が把握されず見落とされているようである。昨年までの降雨により崩落し、地震によるヒビ等、被害箇所があぶり出されて来ているが、復旧工事には至っていない(放置されている)。被害の規模が広がらなければ良いのであるが。
達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	目に見えて安全なまちづくりのための工事が進んでいる。しかし、量的には、ほとんど手のつけられていない所が多い。
達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	早く防潮堤を完成させて欲しい。

達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	まだまだ先のこと、長い時間がかかる。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	防潮堤も、手をつけたばかりで、災害に強いまちづくりはまだまだという感じです。家のあった土地（町）は、まだ土の仮置き場になっている状態です。まだ盛り土にも手がつけてられていないです。UR土地区画整備事業のまちですが、また、おこなっているようです。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	安全なまちづくりと住民の安全の確保を目指している事はわかります。が、何時着手して、何時完成するのか、未だかつて目に見えません。住民が納得いく確実な説明をして下さい。
達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	今の状況で、また津波が来ると思うと不安です。防潮堤の整備も進めてほしいですが、避難対策にも力を入れるべきと感じます。
達成していない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	こわれた防潮堤・水門が、まだなおっていない。水門の整備がまだ。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	設計図面上での防潮堤は、出来上がっているようですが、予定地所有の有無が確認されておらず、足踏状態、その先にある区画整理地域の安全性も問われかねません。また、公営住宅建設予定地から毒性の強い砒素が検出、加えて、区整地への盛土（縦貫道堀削岩）からも砒素が検出されております。なお、区整地の数ヶ所から埋蔵文化財に値する器物が掘り出され、歴史の重さと復興の重さを計量して、一喜一憂が続くのかな？…不安になります。 5/21テレビニュースにて、「有識者の検討委員会で砒素の処理対策方法」「使用方法、使用箇所」等が発表されましたが、大丈夫でしょうか？
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	相変わらずシミュレーションにたよっている。復興ウォッチャーに何度も書いているが、過去の実例を無視してまちづくりをしてはならない。

【自由記載集：掲載にあたって】

- ①回答者ご本人のご了解をいただいたもののみを掲載しています。
- ②自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。
(一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現をあらためています。)

平成26年第2回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発行

平成26年6月23日
岩手県 復興局 復興推進課

〒020-8570
岩手県盛岡市内丸10-1
電話 019-629-6945